



2022年3月31日
株式会社ウフル

ウフル、学校等を対象とした文部科学省アンケートシステムを構築 ～Salesforce と Tableau で調査結果の自動集約 調査作業の更なる負担軽減・迅速性を実現～

株式会社ウフル（本社：東京都港区、代表取締役社長 CEO：園田崇史以下、ウフル）は、文部科学省において、学校等に関する調査の一層の負担軽減及び迅速化を実現するために導入した「文部科学省WEB調査システム」（EduSurvey）の構築をいたしました。このシステム構築により、文部科学省・教育委員会・学校等の「作業負担の更なる軽減」、「迅速性」の実現が可能となります。この度、ウフルが構築したシステムを導入していただける運びとなりましたので、お知らせします。

文部科学省ウェブサイト：https://www.mext.go.jp/a_menu/other/data_00004.htm

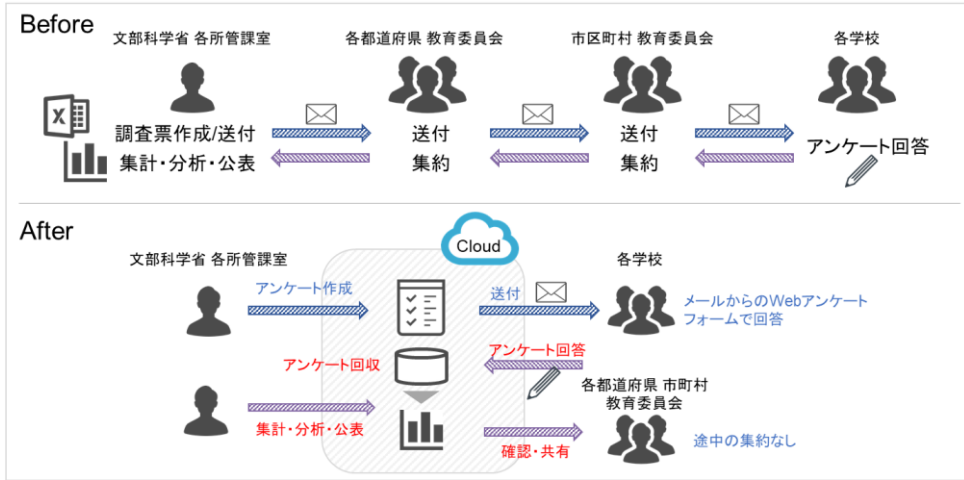
文部科学省各課においては、各課が所管している分野の実態等を把握する観点から、定期的に、学校等に対し、必要な調査を行っています。

多くの場合、担当課において、エクセル等の形式で調査票が作成され、高等教育機関の場合は文部科学省担当課から当該調査の窓口を経由して各部局等へ、初等中等教育機関の場合は、例えば、公立の義務教育段階の学校の場合は都道府県教育委員会、市区町村教育委員会を経由して学校に調査票が送られ、学校等の担当者が入力した後は、教育委員会等の経由機関が回答結果を取りまとめの上、最終的に、文部科学省に提出されます。これら作業に当たっては、調査回答の負担はもとより、経由機関における回答の統合作業等の業務負担が生じています。また、文部科学省においても、全国の経由機関からの回答の統合作業が発生し、迅速な回答状況の把握が難しいという課題があります。

ウフルが構築したアンケート集計システムを導入していただくことによって、各学校等が、ウェブ上で調査票に回答した回答結果は、アンケート集計システムに直接蓄積されることになり、経由機関における回答の統合作業が不要となります。



< アンケート調査実施フローの改善イメージ >



< アンケート回答と分析イメージ >

(1) 接続回線種別

学校が教育用（校務用を除く）に利用している主たる接続回線について、回答してください。

※「3＝光ファイバー接続（学校から直接長距離プロバイダへ接続）」とは、ベストエフォート型光ファイバー接続サービスにより学校から直接接続するものをいう。

※「4＝光ファイバー接続（学校から教育センター等経由で帯域を確保して接続）」とは、帯域保証型の光ファイバー接続サービスにより、各学校と教育センター等とのネットワークが構築されているものをいう。（一部帯域保証の場合や帯域保証型でVPN等を利用している場合を含む。）

※「5＝光ファイバー接続（学校から教育センター等経由で帯域を確保せずに接続）」とは、ベストエフォート型の光ファイバー接続サービスとともに、VPN等の仮想化技術を用いて通信回線を暗号化することによって、各学校と教育センター等とのネットワークが構築されているものをいう。

リストから回答の選択肢を選択

7.光ファイバー接続（3を主たる接続回線として利用し、5を併用）

(2) 接続回線速度（理論上の下り最大値を下記より選択）

（1）の回答が10,11,12及び15以外の場合、回答すること。

リストから回答の選択肢を選択

1つ選択

2つ選択

1. =1Mbps未満

2. =1Mbps以上～30Mbps未満

3. =30Mbps以上～100Mbps未満

4. =100Mbps～1Gbps未満

5. =1Gbps以上

<https://www.maff.go.jp/tokei/zudemiru/Tableau.html>

水稲収穫量調査

2020(2021) 全農業者地域

作況指数 (都道府県)

都道府県	作況指数
北海道	106
青森県	104
岩手県	104
宮城県	104
秋田県	101
山形県	99
福島県	99
茨城県	99
栃木県	92
群馬県	92
埼玉県	92
千葉県	92
東京都	92
新潟県	104

2020(2021) 稲作状況

作況指数: 106

作況指数(100未満) 542

作況指数(100以上) 367,200

作況指数: 182(ヤブ)

作況指数(100未満) 39,200

作況指数(100以上) 132,200

2020(2021) 稲作状況

作況指数(100未満) 542

作況指数(100以上) 367,200

作況指数: 182(ヤブ)

作況指数(100未満) 39,200

作況指数(100以上) 132,200

<https://festyle.nies.go.jp/html/interactive.html>

アンケート結果をクラウドのデータ分析ツールを活用し、様々なグラフ形式で見える化。

ウフルはこれまで、株式会社セールスフォース・ジャパンが提供するSalesforceSalesCloudやSalesforceMarketingCloud、Tableauなど各種製品を取り扱っており、導入・開発支援を行っています。

今後もSalesforceやエクセル管理されているデータをTableauにより1つのダッシュボードで可視化を実現するなど、お客様のデジタルトランスフォーメーション（DX）推進をサポートし、常に変化する社会の課題を捉え、改革実現に貢献してまいります。

*本リリースに記載されている会社名、製品名、サービス名は、当社または各社、各団体の商標もしくは登録商標です。



■株式会社ウフルについて (<https://uhuru.co.jp/>)

ウフルは「テクノロジーと自由な発想で、持続可能な社会を創る」を理念として、企業や社会のDX（デジタルトランスフォーメーション）とデータ活用を支援・推進しています。クラウドサービスの導入と運用をはじめ、コンサルティングやシステム開発等を自社製品やソリューションとともに、エッジからクラウドまでワンストップで提供しています。また、企業活動の枠を超えて、地域や産業のDXを実現するために、スマートシティやスマートサプライチェーンに必要とされる、信頼できるデータ流通のための仕組みの導入と標準化に向けた提言を行いながら、IoT×ブロックチェーン領域における研究開発にも取り組んでいます。